

1 事業報告とその成果

DV 被害者支援及びシェルター運営事業

① 電話相談 489 件、面接相談 194 件、同行支援 547 件実施した。内部研修を実施し支援の充実を図った。

② 国の寄り添いホットラインに参加 月 3 回一般電話と被災地からの女性の相談に応じた。

被災地 155 件 全国相談 233 件 合計 388 件

③ シェルターに年間 26 組、大人 27 人、子ども 30 人を保護した。

本年度は委託の件数が 16 件とピーク時の半分となり、委託以外の保護件数が 10 件であり、利用日数の総計としては、委託の方と委託外の利用者はほぼ同数であった。委託以外の方も全員が DV 被害を経験した女性や母子なので、厚労省の通達もふまえて、ぜひ委託扱いとして頂けるよう働きかけたいと思っている。

④ 県の委託事業である心のサポート事業は継続されたので、利用者へのカウンセリングや保育を実施することができた。シェルター滞在中の心のケアを充実させることができた。

⑤ 神戸市の委託事業で DV 被害者支援者養成講座を 11 月に実施した。参加者は 15 人。当団体で活動しない場合でも、DV に理解のある人が地域に一人でも増えることは、社会を変えていく力となると信じている。

⑥ シングルマザーの元気が出る講座は今年で 7 年目である。仲間に出会えてよかったと、見違えるほど元気になった人も少なくない。安心できる唯一の居場所だとの声もある。母親への支援は子どもの支援に繋がる。DV から逃れてきた女性の多くが地域で孤立しているという厳しい現状がある。この会を通して女性たちが孤立感を解消し、信頼できる仲間を得ることは生活再建を支える力を育てることに非常に効果的であると実感している。特別なイベントとして、6 月にお泊り合宿、12 月はクリスマス会を開催。女性 80 人 子ども 78 人の参加

⑦ DV 被害者の自助グループとして、月 1 回、コスモスの会を開催している。同じ経験した仲間と悲しみや辛さを共有できることが、参加者の孤立感を解消し、エンパワメント効果は非常に高いと担当者から聞いている。

DV・デート DV 防止教育事業

① 兵庫県子育て元気アップ助成事業として、DV・デートDV防止教育トレーナー養成講座を 10 月に実施した。フォローアップ研修も実施し、講師の養成に努めた。参加者は 13 人。

② デートDV防止授業は今年度、県の助成金がなくなったため、県内の大学での授業は、6 校となった。また、高校は学校独自の実施は 6 校に留まった。ただ、神戸市、明石市、宝塚市、三木市、加東市、宍粟市、多可町では地元自治体の費用負担により 15 校で実施できた。中学校においても神戸市、明石市、高砂市、三木市、加東市、西脇市、相生市の自治体で同様に 26 校で実施できた。全体では、他府県（大阪、滋賀、京都）もあわせて、21,000 人に実施し、デートDV防止授業を始めた 2007 年度から 155,000 人を超えることとなった。

DV 被害者生活再建事業

① WACCA の運営—女性やシングルマザーと子どもたちの居場所—WACCA の運営事業

単身女性やシングルマザーとその子どもたちを対象に、孤立感の解消と仲間づくりに役立つ学習講座やからだの講座を定期的開催した。就労準備支援(週4日実施)。子どもの学習支援(週2日。当初は小学生のみだったが中学生も加わり人数も増えてきた。中学3年生2人は無事高校に合格。

DV被害や依存症に悩む女性のための自助グループの開催。母子の造形教室(月1回実施)。生活相談(WACCAに来室した女性への面談や電話での相談)や就労相談会を行う。

第5回 「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムの支援を受けることができた。

事業の成果

- ・専従スタッフが常駐することにより、就労準備支援に通う女性や、フリースペースなどに来られた、女性たちの悩みや相談事を聞き、次のステップにつなげた。利用者から、やっと社会とつながったとの声を聞く。
- ・子どもが学習に意欲が持てるようになり、いい仲間づくりもできて、安心できる居場所となりつつある。
- ・夏休みの学習支援ボランティアの学生・社会人対象に、DVや子どもの貧困についてレクチャーを行い、彼らが子どもたちの現状に気づき、知る機会となった。
- ・WACCAのHPやブログを開設、ニュースレターを発行し、WACCAの広報に努めることができた
- ・他のNPOがWACCAで、子どもの学習支援等をテーマに異業種交流を行い、学びや社会的理解の機会を持つことができた。WACCAのスタッフも加わり情報交換ができた。

参加女性 就労準備延べ660人 講座参加延べ738人 参加した小中学生 延べ336人
ボランティア 118人 学習支援ボランティア 216人

② シェルター利用後の家庭訪問事業

神戸市委託事業は10月～3月で7世帯を月2回ずつ訪問を実施した。月2回訪問することが、孤立しがちな家庭、単身女性や母子のさまざまな悩みに寄り添う人がいることがとても心強いと言われた。精神的、経済的な問題について、必要があれば行政の担当者に繋ぐようにしていた。

兵庫県も同様に、委託事業として、県内(神戸市以外に在住)の4家族の家庭訪問を月2回ずつ実施した。

その他の報告

① シェルター10周年記念事業

10月29日(水)神戸風月堂にてシェルター開設10周年記念として田嶋陽子さんのチャリティコンサートを開催、200人を超える参加があり、とても盛大に行うことができた。

- ② 2015年3月23日づけで神戸市より認定NPO法人の資格を取得することができた。3000円以上の寄付者が年間100人以上いるという絶対基準で昨年11月に申請、5か月間の厳正な審査により認定を受けることができた。これまで寄付をして下さったかた(賛助会費も寄付と認定されます)は確定申告をされることで、税額控除を受けることができます。

2014年度 活動計算書(報告書)

2014年04月01日～2015年03月31日(決算)

NPO法人女性と子ども支援センターウイメンズネット・こうべ 特定非営利活動に係る事業の
会計

(円)

科目		金額	
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	180,000		
賛助会員受取会費	353,500		
受取会費計		533,500	
受取寄付金			
受取寄付金	4,395,313		
受取寄付金計		4,395,313	
受取助成金等			
受取地方公共団体補助金	715,500		
受取地方公共団体助成金	440,000		
受取民間助成金	5,052,500		
受取助成金等計		6,208,000	
事業収益			
相談事業収益	28,500		
付添い支援事業収益	22,000		
女性の自助グループ開催支援事業収益	3,300		
緊急避難施設運営事業収益	7,062,570		
生活再建支援事業収益(WACCA)	23,550		
シングルマザー支援&仲間づくり講座事業収益	56,100		
デートDV防止啓発事業収益	563,094		
デートDV防止教育普及事業収益	20,000		
デートDV防止啓発授業実施事業収益	2,870,525		
支援者養成講座開催事業収益	20,958		
ホワイトリボン啓発事業収益	15,500		
情報提供事業収益	289,792		
事業収益計		10,975,889	
その他収益			
受取利息	1,443		
雑収益	186,011		
その他収益計		187,454	
経常収益合計			22,300,156
(2)経常費用			
事業費			
【人件費】			
役員報酬	1,200,000		
給料手当	5,213,806		
雑給	414,986		
【人件費計】		6,828,792	
【その他費用】			
ボランティア謝金	187,220		
諸謝金	2,086,549		
旅費交通費	3,046,953		
会議費	130,052		
通信運搬費	311,923		
食材費	556,449		
消耗備品費	714,233		
消耗品費	447,756		
事務用品費	82,228		
新聞図書費	282,192		
会場費	19,700		
保険料	10,000		
水道光熱費	488,024		
支払地代家賃	3,972,192		
支払手数料	46,658		
雑費	59,314		
減価償却費	195,097		
【その他費用計】		12,636,540	

2014年度 活動計算書(報告書)

2014年04月01日～2015年03月31日(決算)

NPO法人女性と子ども支援センターウイメンズネット・こうべ 特定非営利活動に係る事業の
会計

(円)

科目	金額	
事業費計		19,465,332
管理費		
【人件費】		
役員報酬	2,351,919	
給料手当	1,228,160	
法定福利費	662,632	
福利厚生費	90,740	
【人件費計】		4,333,451
【その他費用】		
旅費交通費	443,230	
会議費	32,070	
交際費	20,000	
通信運搬費	412,784	
広告宣伝費	3,000	
消耗備品費	111,780	
消耗品費	34,359	
事務用品費	243,138	
新聞図書費	49,928	
印刷製本費	817,020	
修繕費	5,000	
保険料	38,000	
水道光熱費	103,314	
諸会費	89,680	
支払手数料	314,784	
租税公課	222,800	
雑費	3,411	
減価償却費	330,000	
【その他費用計】		3,274,298
管理費計		7,607,749
経常費用合計		27,073,081
当期経常増減額		-4,772,925
2.経常外増減の部		
(1)経常外収益		
経常外収益合計		0
(2)経常外費用		
経常外費用合計		0
当期経常外増減額		0
税引前当期正味財産増減額		-4,772,925
法人税、住民税及び事業税	72,000	
当期正味財産増減額		-4,844,925
前期繰越正味財産額		15,596,542
次期繰越正味財産額		10,751,617